

令和2年度地方創生推進交付金事業評価書

担当課:観光課,茨城県

1 事業概要

事業名	DMO観光地域づくり推進事業		
総合戦略における位置付け	基本目標	II 新たなひとの流れを生み出す	
事業目的	訪日外国人旅行者の増加に伴う受入体制の整備や、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく観光産業の競争力の強化,さらには観光ニーズを踏まえた魅力向上の取組といった課題に対し,県及び県内でDMO形成を目指している市町村等と連携しながら,地方創生加速化交付金の取組をさらに深化させ,地域全体が継続して「稼ぐ」ことができる仕組みを構築する。		
事業期間	2020(令和2)年度		
事業費(千円)	総事業費	2020(令和2)年度	
	交付金対象	2,674	2,674
	交付金(交付率50%)	1,337	1,337
事業内容	地域全体が観光で「稼ぐ」仕組みを構築していくため,県域DMOと連携して,以下の取組を進める。 ・県域DMOに必要な人材の育成・確保・活用 ・観光地ブランド化や宿泊施設の充実など魅力ある観光地域づくり ・県産品の知名度向上や販路拡大による稼げる観光産業の振興 ・旅行博や訪日旅行商談会におけるPRなどによる国際誘客の促進		

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況と評価

(1)KPIの達成状況

※各KPIは,茨城県全体での数値

KPI項目	基準値	目標値	実績値
	2015(平成27)年度 ※3のみ2016(平成28)年度	2020(令和2)年度	2020(令和2)年度
1 宿泊観光入込客数(実人数)(単位:万人)	533	822	412
2 海外からの観光ツアー催行数(単位:ツアー)	1,363	3,000	0
3 外国人旅行者数(単位:千人)	259	720	-
4 観光消費額(単位:億円)	2,695	3,700	2,007

達成率平均値(実績値-基準値)/(目標値-基準値) **-65%** 達成度 **地方創生にあまり効果が見られなかった**

(2)評価

評価
<p>魅力ある観光地域づくりについては,本市ならではの体験型観光プログラムの創出に取り組む事業者に対する補助制度を創設し,事業者の募集を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により,事業者からの申請がなかったことから,引き続き制度の周知に努めながら,制度の活用を促進し,本市ならではの体験型観光プログラムの創出に取り組む必要がある。</p> <p>本県の特長(強み)を活かした国内誘客促進に向けては,本市の歴史的資源が集積している弘道館・水戸城跡周辺地区において,歴史的資源や本市の伝統芸能を活用した周遊型イベント及び体験型イベントを初めて開催し,観光交流拠点の魅力向上に取り組んだ。</p> <p>国際誘客促進に向けては,民間事業者と連携し,オンラインによる国内外商談会を開催したが,年度内に訪日観光が再開されなかったため,商品造成に至らなかった。海外との往来ができない現状においては,オンラインによるPR活動を継続するなど,ネットワーク構築に取り組む必要がある。</p> <p>在日台湾人インフルエンサーを招聘したモニターツアーでは,外国人目線での意見を得られたことから,引き続き受入環境の充実に向けて,改善していく必要がある。また,「コロナ禍におけるインバウンド対策」をテーマに開催したセミナーにおいては,民間事業者に対して,国際誘客を見据えた情報を提供した。ワクチン普及に伴い,訪日観光の再開が期待されていることから,受入環境の充実に向けた継続的な支援の必要がある。</p>

### 3 今後の取組

方針	主な取組
当初予定通り事業を終了した	<p>魅力ある観光地域づくりに向けては、補助制度の周知を積極的に行い、水戸市ならではの体験型観光プログラムの創出を図る。また、引き続き本市の歴史的資源を活用したイベントを実施するなど、国内誘客促進に努める。</p> <p>国際誘客促進に向けては、受入環境の充実を図るため、民間事業者と連携し、引き続き在日外国人を対象としたモニターツアー等の取組を実施する。また、本事業において構築できたネットワークを生かし、継続して誘客促進に取り組むとともに、県域DMOや近隣市町村とも連携しながら、広域的な観光誘客の促進に努める。</p>